

式 辞

桜の花も咲き誇り、村岡に新しい年度の息吹が感じられる今日の良き日に、ご多用の中ご来賓の皆様のご臨席、新入生の保護者の皆様のご列席のもと、平成三十年度兵庫県立村岡高等学校入学式を執り行うことができますことは、私どもにとってこの上ない喜びであり誠に嬉しく存じます。本校を代表し深く感謝申し上げます。

先ほど入学許可をされた第五十九期生五十四名の皆さん。ご入学おめでとうございます。職員一同、心より歓迎いたします。

そして保護者の皆様、お子様のご入学誠におめでとうございます。多感な中学生生活を終えられ、これまでお子様を育ててこられました皆様のご尽力に心より敬意を表しますとともに、私たち教職員に課せられた責任の重さに身の引き締まる思いでございます。村岡高校に入って良かった、村岡高校を卒業して良かったと思っただけのように職員一同頑張っ参りますので、本校教育活動に対しましてご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、新入生の皆さんは今どのような高校生活をイメージしていますか。義務教育であった中学校とは違い、高校は教科の学習に加えて大人になる最後の共通の学習の機会です。本校は「人みな使命あり」の教育指針のもと、「地域に学び、地域と協働する、地域になくてはならない学校」を目指しています。皆さんはその一員として自らの使命を果たせるようこれからの三年間精一杯色々なことにチャレンジして欲しいと思います。

それでは、皆さんの使命とは一体何でしょうか。一つ目は「学習すること」です。勉強することだけでなく、社会に出て行くために必要なマナーや常識も学ばなくてはなりません。さらにはそこで得た情報をもとに、人と人との関わりについて学びを深めていかねばなりません。人と人との関わりでいえば、皆さんには家族があります。そしてその家族のつながりを何代もさかのぼっていくと、自分という人間は一人であっても、実に多くの方々との関わりの中で、生かされてきたかということがわかると思います。自分一人の命でないことを理解し、自分の命を大切にすることは勿論、周りの人の命も大切にすることで人と人とのつながりを大事にして欲しいと思います。そして、できるだけ多くの人と出会い、多くの人から学び、自分を磨いていってください。

二つ目は、「感謝の気持ちを持ち、謙虚になる」ということです。皆さんは中学生までご両親に愛情を注がれ、ここまで育てていただきました。中学校卒業の際には「今までありがとう」と言う気持ちになったと思います。そして、今高校生活をスタートさせるにあたっては、「よろしくお願いします」という気持ちだろうと思います。本校は地域になくてはならない学校を目指しています。地

域に必要とされる学校になるためには、まず皆さんが地域から必要とされるような高校生になることが大切です。自らの使命をしっかりと果たし、皆さんに関わっていただいている方々に感謝の気持ちを表し、何事もさせていただいているという気持ちで取り組むことで地域に必要とされる高校生になってください。そして、感謝の気持ちを忘れず、謙虚な姿勢で学校生活を送って欲しいと思っています。

三つ目は、「継続すること」です。高校入学にあたって自分で「こういった生活を送ろう」と言うことを一つ決めてとにかく続けてください。「毎朝六時に起きて〇〇しよう」といったできるだけ身近で継続しやすい簡単なものの方が良いでしょう。自分で決めたことをとにかく続けてください。何か一つでも続けていけば、自分に自信が持てるようになり、少し余裕が持てるようになります。そうすると自分のことだけでなく、周りを見ることができるようになってきます。周りを見ることができるようになると、「いつもと違う」少しの変化を感じ取る力をもてるようになり、それが自分を磨くことにつながっていきます。さらにこつこつと自らが積み上げたものは自分自身の支えにもなります。そうしてできた支えは、皆さんがこれから生きていく上で悩んだとき、困ったときの支えとなるでしょう。そういったことを村岡高校で是非作り上げてください。

さあ、高校生活の始まりです。最初は戸惑うことも多いと思いますが、入学時の緊張感を忘れることなく、自らの人生を切り開く、挑戦する覚悟を持って何事も臨んでください。

保護者の皆様、大事なお子様を三年間お預かりします。人を育てるという使命をしっかりと感じ、お子様の未来に向かって教育活動に精進して参りますのでご支援のほどよろしくお願い申し上げます、式辞といたします。

平成三十年四月九日

兵庫県立村岡高等学校

校長 若浦 直樹